BACK GUIDE SENSOR バックガイドセンサー BGS281 取付/取扱説明書

12V車専用

「使用上の注意」「取り付け上の注意」を必ずお読みになってから、取付作業をおこなってください。

付属の保証書に必要事項を全てご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。
保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※保証規定は保証書を参照してください。
※保証書は如何なる理由があっても再発行致しませんので、あらかじめご了承ください。
本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

付属品一覧

■BGS281本体 ×1
■モニター ×1
■両面テープ ×1
■エレクトロタップ ×2
■結束バンド
■取付/取扱説明書(本書)
■保証書/ユーザー保証登録カード
※センサーは別売です。

Data System 株式会社 データシステム

■[本　社] 東京都豊島区東池袋 3-4-3　TEL.03-5950-1611(代)　FAX.03-5950-0551
自動音声案内に従って下記の #(シャープ)と番号を押してください。
#11 適合確認・在庫確認・ご注文　#3 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田 1-1-11　TEL.086-445-1617(代)　FAX.086-440-1635
自動音声案内に従って下記の #(シャープ)と番号を押してください。
#1 適合確認　#2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付) #3 在庫確認・ご注文
(※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください)

BGS281-0401-YM-MB-2000

使用上の注意

●本製品は車両の後退を安全におこなえるよう補助するためのもので、後退時の安全を保証するものではありません。後退の際は必ずドライバー自身が後方の安全確認をおこなってください。
●以下のような自然条件あるいは路面条件では、センサーが影響を受け正常に動作しない場合があります。
　強い雨 / 濃い霧 / 高温時 / 極寒時 / 凹凸の激しい路面 / 草などが生えている場所 / 傾斜した路面 / フェンス / 金網 / 一部の踏み切り付近や一部の有料駐車場など、超音波センサーを使用している場所
●障害物が以下のような形状・材質の場合、反応しにくいまたは反応しない場合があります。
　小さな障害物 / 表面が丸い物体(円柱・球状のもの) / 布や綿など超音波を吸収する材質 / センサーに対して直角に近い向きで当たらない障害物
●センサーに泥や雪などが付着している場合は正常に動作しない場合があります。
●後退速度が速いとセンサーが反応する前に障害物がセンサー検知範囲外に入ってしまい、センサーが反応しない場合があります。
●モニターの距離表示は、障害物の素材やその他自然条件等により多少の誤差が発生する場合があります。
●本製品を使用して発生した事故、または車両の故障・破損等の責任は一切負いません。

故障かな？と思ったら

◆全く動作しない
正しく配線されていますか？　接触不良はありませんか？　バッテリー電圧が異常に低くありませんか？バッテリー電圧が10V 以下では正常に作動しません。

◆シフトレバーを「R」にシフトした瞬間、モニターの一部が一瞬点灯する。
主にシフト位置の変更を頻繁におこなった場合に発生しやすくなりますが、故障ではありません。

◆障害物がないにも関わらず、モニターに距離が表示されたりアラーム音が鳴る。
・センサーの取付角度は真っ直ぐ後方または若干上を向いていますか？　下方向を向いている場合、地面に対して反応している可能性があります。取付位置のバンパー形状によっては付属のカラー(ビルトインセンサー)またはスペーサー(イージーフィットセンサー)を使用して、若干上を向くように取り付けてください。また、バンパーの段差等によりセンサーが発する超音波がさえぎられるような位置にセンサーを取り付けていませんか？
・BGS本体に接続しているセンサーのコネクターを、別の位置に差し替えてください。

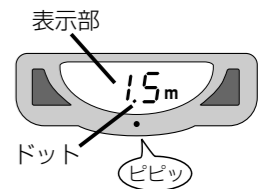
本製品の特長

●高感度超音波センサーにより後方の障害物を確実にキャッチします。
●障害物までの距離を、モニターによる距離表示と3種類のアラーム音でドライバーに確実にお知らせします。
●リアバンパーに装着するセンサーは、お好みに応じて装着簡単なイージーフィットセンサー(貼り付けタイプ)と、純正風に装着することが可能なビルトインセンサー(埋め込みタイプ)の 2 種類を用意しました。

使用方法

●シフトレバーを「R」ポジションにシフトすると、ピッピッとアラーム音を発して動作を開始します。
　※条件 : イグニッションキー ON
●動作中はドットが点灯します。
●モニター表示とアラーム音で障害物までの距離をお知らせします。(距離表示は最大で 1.5m です。障害物までの距離が 1.5m を超えている場合、数字は表示せずにドットのみの点灯表示となります。)
　検知範囲は 0.4m ～ 1.5m、0.1m 単位で表示します。また、障害物までの距離に合わせてアラーム音が変化します。0.4m 未満になると 0m 表示となります。
　障害物までの距離とアラーム音との関係は以下のようになります。

障害物までの距離	アラーム音	モニター表示
1.5～0.9m	ピッピッピッ	1.5m ～ 0.9m
0.8～0.5m	ピピピピ	0.8m ～ 0.5m
0.4～0m	ピーーーーーーー	0.4m または 0.0m

モニター部(ブザー内蔵)

取り付け上の注意　お取り付けになる前に必ずお読みください！

●製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱業者でおこなってください。
●本装着前に必ず仮装着をおこない、モニター表示及び全てのセンサーが正常に機能することを確認してから本装着をおこなってください。
●万が一製品に初期不良があった場合にはお取り替えさせて頂きますが、如何なる場合においても作業工賃・バンパー修理代等は一切お支払い致しません。

[センサーについて]
●ボディ振動の大きな車両や金属製バンパー装着車両では、センサーが誤動作しやすくなる為正しく機能しない場合があります。
●ミッドシップやリアエンジン車のリアバンパー、またはフロントエンジン車のフロントバンパーに装着した場合、エンジンから発するノイズの影響によりセンサーが正しく機能しない場合があります。
●センサーを装着する際は、マフラーからなるべく離れた位置に装着してください。マフラー近辺に装着すると、熱の影響により誤動作・センサー変形・配線溶解及びショートなどの不具合が発生する場合があります。また、必ずリアバンパーの最後部に装着し、バンパーの段差などによりセンサーが発する超音波がさえぎられるような位置には装着しないでください。
●センサーを装着する際は、必ず地面から 55cm 以上離れた位置に装着してください。地面から 55cm 未満の位置に装着すると、センサーが地面に対して反応してしまい誤動作の原因となります。また、超音波照射部分が必ず車両後方を真っ直ぐ向くか、または若干上を向くように装着してください。超音波照射部分が下向きになると、地面に反応しやすくなり誤動作の原因となります。
●ワンボックスやワゴン車などカーゴスペースに重い荷物を載せる可能性がある場合、センサー装着位置を若干高めにしてください。規定の高さにセンサーを装着した場合、荷物の重量によってはリアの車高が下がり、センサーが地面に対して反応してしまうことがあります。
●センサーを取り付ける位置によっては、車両後方側面にある障害物(壁・駐車車両など)にも反応することがあります。
●センサーを塗装する場合、メタリック系など金属粉入り塗料はセンサー誤動作の原因となりますので使用しないでください。

[本体・モニター・配線類の取り回しについて]
●モニター及び本体は防水加工されていませんので、必ず車内に設置してください。また、高温・多湿になる場所には設置しないでください。
●モニター及びセンサーのケーブルは延長できません。モニター・本体・センサーの装着位置をよくご確認の上、取付作業をおこなってください。
●モニター・BGS 本体・各ケーブルおよび配線類は、シートレールやペダル・ドア等に噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には設置しないでください。製品破損やハーネス断線・ショートの原因となります。
●センサーのコードを取り回す際は、できるだけ車両側の配線類から離してください。車両側配線付近に取り回した場合、車両側のノイズの影響を受け、センサーが誤反応する場合があります。

[埋め込みタイプセンサーの装着について]
●特に埋め込みタイプセンサーを装着する場合は、必ず仮装着して正常動作を確認してから本装着をおこなってください。バンパー穴あけ装着後に動作不良などが発生しても、バンパー修理等の補償は一切致しません。
●埋め込みタイプセンサーを装着する場合、リアバンパーを取り外してリアバンパー内側～ボディ間に **25mm以上**の隙間があることを確認してください。十分な隙間が確保できない場合は埋め込みタイプセンサーを装着することができません。
●バンパー内側にレインフォース(鉄板)が入っている場合は、レインフォースも同時に穴を開ける必要があります。
●バンパー内側から車内にケーブルを通せる穴を探してください(センサーケーブル長 約2.4m)。この穴を確保できない場合は埋め込みタイプセンサーを装着することができません。

⚠ 取り付け条件に合わない車両には絶対に装着しないでください

検知エリアのイメージ

ビルトインセンサー（埋め込みタイプ）

４個装着した場合

２個装着した場合

検知範囲が不足します　検知範囲が不足します

※ 1個・3個装着した場合も同様に検知範囲が不足します。

イージーフィットセンサー（張り付けタイプ）

２個装着した場合

0.5~0.8m

0.4m　0.9~1.5m

推奨

0~0.4m

0.5~0.8m

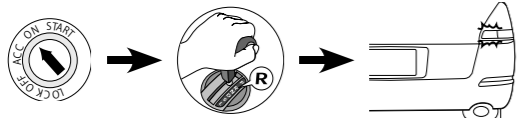
0.9~1.5m

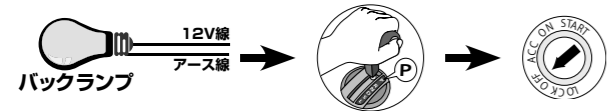
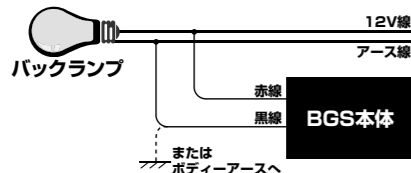
検知しやすい障害物 / 検知しにくい障害物

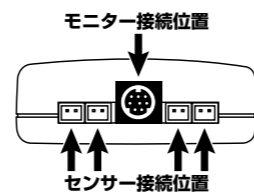
●センサーは反射された超音波をキャッチすることで障害物を検知します。このときセンサーが出力した超音波が、障害物に対し直角に近い向きで当たっていないと、超音波がセンサーの方向へと反射されにくくなります。

●小さな障害物や球状のもの、円筒状のポールなどはセンサーが反応しない場合があります。

取付方法

①イグニッションキーをON（エンジンは始動しない)、シフトレバーを「R」にシフトすると点灯するバックランプを確認します。

②バックランプ裏側の配線２本を探し、テスターを使用してバックランプ点灯時に12V出力する配線（12V線）とアース線を探します。

③シフトレバーを「P」にシフトし、イグニッションキーをOFFにします。

④BGS本体から出ている赤線を12V線に、BGS本体から出ている黒線をアース線に、それぞれ付属のエレクトロタップを使用して接続します(アース線をボディーアースする場合は、必ず塗装されていない金属部分に車両側ボルトを利用して取り付けてください)。

⑤BGS本体にモニターを接続します。

⑥BGS本体にセンサーを１つ接続します。BGS本体には２ピンコネクターが４箇所ありますが、接続位置は基本的にどこでも構いません。※

⑦センサーをリアバンパーに仮装着（「センサー仮装着方法」参照）し、装着予定のセンサー全ての反応を1個ずつ確認します。確認方法は「使用方法」を参照の上、センサーに障害物を近づけてモニター表示及びアラーム音を確認します（事故防止の為、動作確認は２人以上でおこなってください)。

⑧動作上問題無ければ本装着をおこなってください。センサーの本装着方法については「センサー本装着方法」を参照してください。正常に動作しない場合は「故障かな？と思ったら」「使用上の注意」「取り付け上の注意」を再度お読みください。

※障害物がないにも関わらず、常にセンサーが反応してしまう場合は、センサーの接続位置を変更してください。

ビルトインセンサー（埋め込みタイプ）の場合

センサー仮装着方法

15mm×50mmの厚紙を用意し、中心に直径約19mmの穴を開けます。
下図のように折り曲げて、センサーを穴に通して両端をガムテープなどを使用してリアバンパーに貼り付けます。センサーが後方を真っ直ぐに向き、リアバンパーにしっかりと接触するように貼り付けてください。

●地面より 55cm 以上 80cm 以下の高さ
●センサー間は 30 ～ 40cm 以内

センサー本装着方法

リアバンパー穴開け時の注意

●リアバンパーを取り外してリアバンパー～ボディ間に 25mm 以上の隙間があることを確認してください。十分な隙間が確保できない場合は埋め込みタイプセンサーを装着することができません。

●リアバンパー内側から車内にケーブルを通せる穴を探してください（センサーケーブル長 約2.4m)。この穴を確保できない場合は埋め込みタイプセンサーを装着することができません。

●リアバンパー内側にレインフォース（鉄板）が入っている場合は、レインフォースも同時に穴を開ける必要があります。

●リアバンパー形状によってはセンサーに付属のカラーを使用し、センサーが車両後方を真っ直ぐ向くか、または若干上を向くように装着してください。

リアバンパー穴開け方法

●センサーを装着する位置決めをおこないます。センサーが車両後方を真っ直ぐ向くか、または若干上を向くような位置を選んでください。装着位置によってはセンサーに付属のカラーを使用してください。

●右図を参照の上、等間隔に 21φの穴を開けます。※

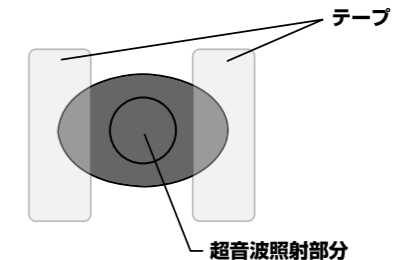
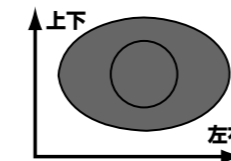
●センサーを穴に通して固定具合を確かめてください。がたつくようでしたらセンサーにビニールテープ等を巻いてがたつかないよう処理してください。

※別売のバンパー穴あけドリル(ビット)：BGS011¥1,000(税込 ¥1,050)を用意しています。(別途市販の電動ドリルが必要です。)

イージーフィットセンサー（張り付けタイプ）の場合

センサー仮装着方法

●センサーには指向性があります。下図を参照してください。
●傾きに注意し、ビニールテープなどを使用してリアバンパーに貼り付けます(センサー中央の超音波照射部分を避けるようにテープを貼り付けてください)。
※センサー裏側の両面テープは、一度貼り付けてしまうと再使用できません。

●地面より 55cm 以上 80cm 以下の高さ
●センサー間は 60 ～ 80cm 以内（基本的に2つ使用します）

センサー本装着方法

●センサーを装着する位置決めをおこないます。センサーが車両後方を真っ直ぐ向くか、または若干上を向くような位置を選んでください。装着位置によってはセンサーに付属のスペーサーを使用してください。

●右図を参照の上、等間隔の位置にセンサーを貼り付けます。傾かないように注意してください。

●気温が低い場合、センサー裏側の両面テープをドライヤーなどで少し温めてからリアバンパーに貼り付けますとしっかりと取り付けられます。